

くらしでミーティングの取組—女性躍進に向けて—

中国地方整備局 特別会員 ○辻田 彩乃
中国地方整備局 特別会員 三上 里奈
中国地方整備局 正会員 山本 浩之

1. くらしでミーティング

女性の感性を活かしたよりよいインフラ整備・管理（防災・交通）及び渉外活動（広報・地域連携）を行うための、組織の意識向上並びに女性の情報共有を行うことを目的に、平成 26 年 6 月にくらしでミーティング（以下、くらしで）を設立した。主に女性技術職員にて構成されている。

設立当初は、40 人に満たなかったが、近年の採用人数が増えていることもあり、平成 31 年 4 月時点では、76 人となり、毎年新たなメンバーを迎えながら活動をしている。

くらしででは、「入職促進」「就労継続」「更なる活躍とスキルアップ」「情報発信」の 4 つの柱を掲げて活動している。

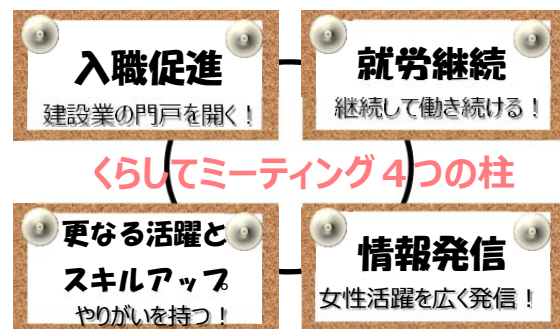


図-1 くらしでミーティング 4つの柱

2. 取り組み紹介

設立後、現場見学会や施設点検などを通して、女性職員の活躍や意識向上のため取り組みを行ってきた。今回はそれらの取り組みを紹介する。

1) 現場見学会

県や他の女性の会と協力し、学生を対象とした現場見学会や現場安全点検を行った。島根県を中心に活躍する「しまね建設産業イメージアップ女子会」と共催し、島根県内の土木系女子学生を交えて松江国道事務所管内の山陰道の現場見学会及び意見交換会を開催した。現場見学会では、松江国道事務所の若手女性職員や民間会社の女性技術者が女子学生に向けて事業や工事内容の説明を行った。女子学生に建設業界で働く女性技術者の姿を知ってもらい、自分が将来働くイメージを持ってもらうとともに、女性職員にとっても見学会の段取りを行ったり説明したりすることで自身のスキルアップにつながっている。



写真-1 説明する整備局女性職員

2) 育休職員座談会

現在育児休暇中の職員が職場復帰後の生活を計画するための参考としてもらうため、育休職員座談会を開催し、育休中の職員、産休予定の職員、育休を経験した職員、若手職員が参加した。座談会では、復職後に利用できる様々な制度の説明や所属する職場状況を情報提供した。また、育休を経験した職員と意見交換することにより、復職後の仕事や家庭でのイメージをより具体的にすることができた。



写真-2 育休職員座談会の様子

キーワード 女性活躍推進, 女性の会, ワークライフバランス

連絡先 〒730-8539 広島市中区上八丁堀 6-30 中国地方整備局企画部企画課 TEL 082-221-9231

3) 備北丘陵公園の魅力発見

広島県庄原市に「備北丘陵国営公園」(以下、公園)がある。春は多くの花々、冬はイルミネーションと1年を通して来園者の目を楽しませている。しかし、年間入園者数に伸び悩む一面もある。くらしてでは平成28年から公園の施設点検等を行い、公園を管理している三次河川国道事務所へ公園利用増加への取り組みの提案を行った。

公園内の施設点検では、公園内のトイレや案内看板を点検し、カイドマップの見やすさを確認した。点検での気付きは三次河川国道事務所に報告を行い、事務所において改善の対応を行った。点検での気付き点と改善策を表-1、改善結果例を写真-2に示す。

表-1 気付き事項及び改善策

気付き点	改善策
トイレで有色の水が流れ、驚く。	再生水使用の表示を行う
授乳室のスペースが狭く、間仕切りをしてプライベート空間がほしい。	間仕切り及びカーテンを用い、一人用のプライベート空間に改善(写真-2)
インバウンド対応が必要ではないか。	案内看板やガイドマップを多言語表記にする。
ガイドマップの表示が見にくい。	ガイドマップの修正。

他にも、公園の魅力発見として、利用者目線を意識しながら公園内の点検や公園のホームページの閲覧を行い、グループ討議を行った。討議での意見の一部を以下に示す。

- ・ひばの里(里山の暮らし体験)の魅力が活かしきれていない。案内看板をわかりやすくし、体験コーナーがあることをPRして、もっと前面に出すべきである。
- ・公園は広いので、魅力が分散している。所要時間の分かるモデルルートを作成してはどうか。
- ・ホームページで欲しい情報がすぐ出てこないため、掲載をする順番を変えたり表にしたりして見やすくしたらどうか。

三次河川国道事務所では、くらしてからの提案を参考に、改善策の検討が予定されている。公園での施設点検や魅力発見の取り組みは、くらしてメンバー自身が行ったことが実際の改善策の参考となり、目に見えた成果となって表れるため、くらしてメンバーのやりがいにつながっている。



写真-3 改善例（授乳室）



写真-4 公園内の点検の様子

4) 道の駅点検

平成5年に道の駅登録が開始されてから25年が経ち、今では全国で1,000を越える道の駅が登録されている。ドライバーの休憩の地として、地域交流拠点の場として、道の駅は多くの役割を担っている。また、近年では外国人が観光地等に訪れる交通手段として、レンタカーの利用が増えてきており、外国人がレンタカーを利用する時の休憩や情報取得の場所としても、また地域の文化と触れ合える場所としても、道の駅は最適である。

これらの背景から、よりよい道の駅を目指して、道の駅発祥の地である中国地方整備局では、女性職員が管内103駅すべての道の駅（ただし改修中は除く）のトイレや情報コーナーを客観的に評価し取りまとめを行った。評価に使用したチェックリストを表-2に示す。チェックリストは、トイレ及び情報コーナーでそれぞれ作成し、設備状況や利用しやすさ等で分類した。このチェックリストを基にA（非常に良い）からE（非常に悪い）までの5段階で各駅の評価を行った。各県ごとの評価割合を表したものを図-2及び図-3に示す。中国5県全体をみると半数近い道の駅がA（非常に良い）またはB（良い）という評価であった。特に鳥取県では、トイレ及び情報コーナーともに良い結果であった。直轄の道の駅が多く、比較的新しい道の駅が多いためと考えられる。

今回の点検結果を各県へ情報提供した。この取り組みにより、道の駅の質の向上への参考になれば幸いである。

表-2 点検チェックリスト

◎トイレ チェックリスト		
基本設備の充実度	1	必要な設備について（明るさ、換気等）
	2	動線の確保について（案内の有無、段差等）
	3	施設案内について（多機能トイレ、授乳コーナー等）
快適設備の充実度	4	快適で利用しやすい設備の有無について（車椅子使用者・高齢者・子供連れの方の利用、清潔設備、手荷物置き場）
	5	配慮事項について（通路幅、防犯等）
日常管理	6	快適で利用しやすい設備状況（照明・設備不良の有無）
	7	サインについて（多機能や授乳コーナー等のマークの認識しやすさ）
	8	日常管理（ペーパー、クリーナーの補充）
清掃	9	適切な清掃について（清潔感、汚れ、臭い）
工夫	10	工夫について（花を飾る、防虫対策、音楽等）
◎情報コーナー チェックリスト		
施設状況	1	情報提供施設の配置や動線について（案内の有無、行きやすさ）
	2	情報提供施設は、施設内に入りやすさや施設内の利用者の動線について（スペース、ベンチ等）
情報提供等	3	効果的な紙ベースの情報提供について（配置、分類）
	4	利用状況や様々な取組の効果把握について（アンケート、意見箱等）
情報提供内容	5	IT機器から提供する情報内容と機器の操作方法について
	6	情報の更新について
	7	利用者が求める情報や魅力的な地域情報を提供について
工夫	8	工夫について（掲示の仕方、人をコーナーに引き込む工夫等）

道の駅数	直轄	直轄以外
鳥取県	11	5
島根県	12(2)	16
岡山県	3	13(1)
広島県	3	16
山口県	6(1)	17(1)

() 書き：改修中のため評価していない箇所数

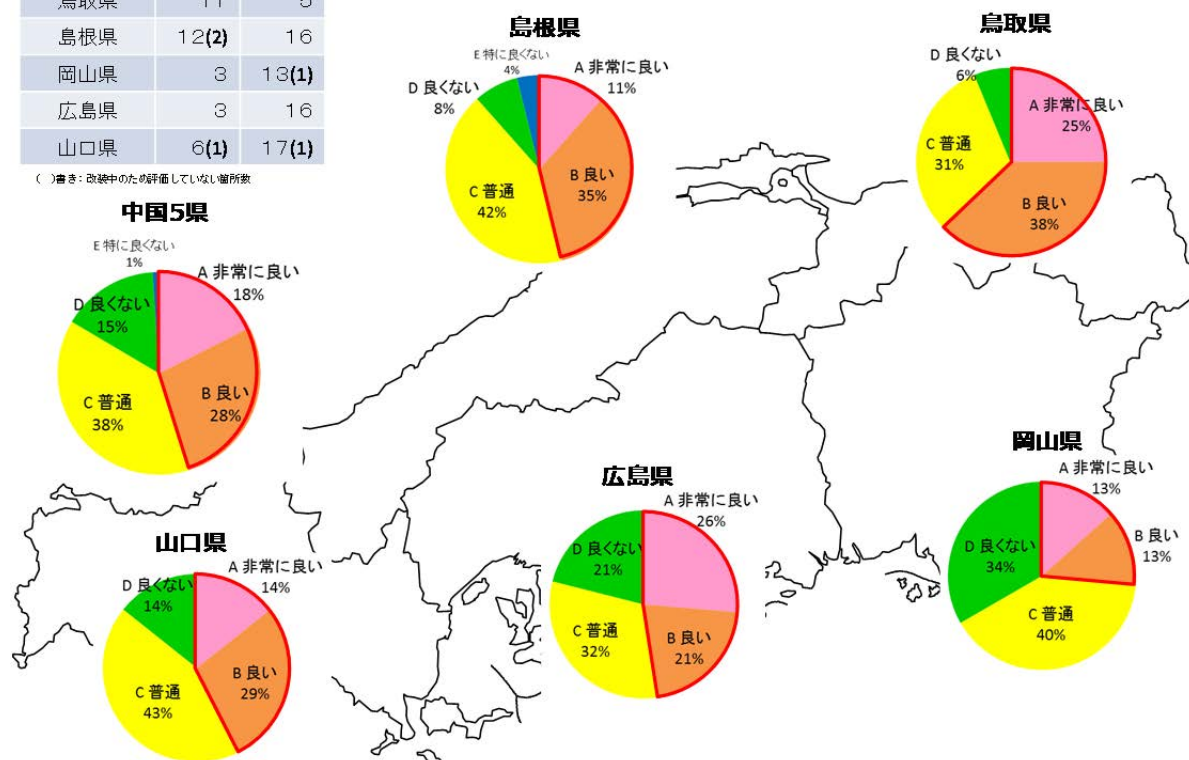


図-2 道の駅点検結果（トイレ）

道の駅数	直轄	直轄以外
鳥取県	11	5
島根県	12	16
岡山県	3	13(1)
広島県	3	16
山口県	6	17(1)

(1) 番号：改善中のため評価していない箇所数

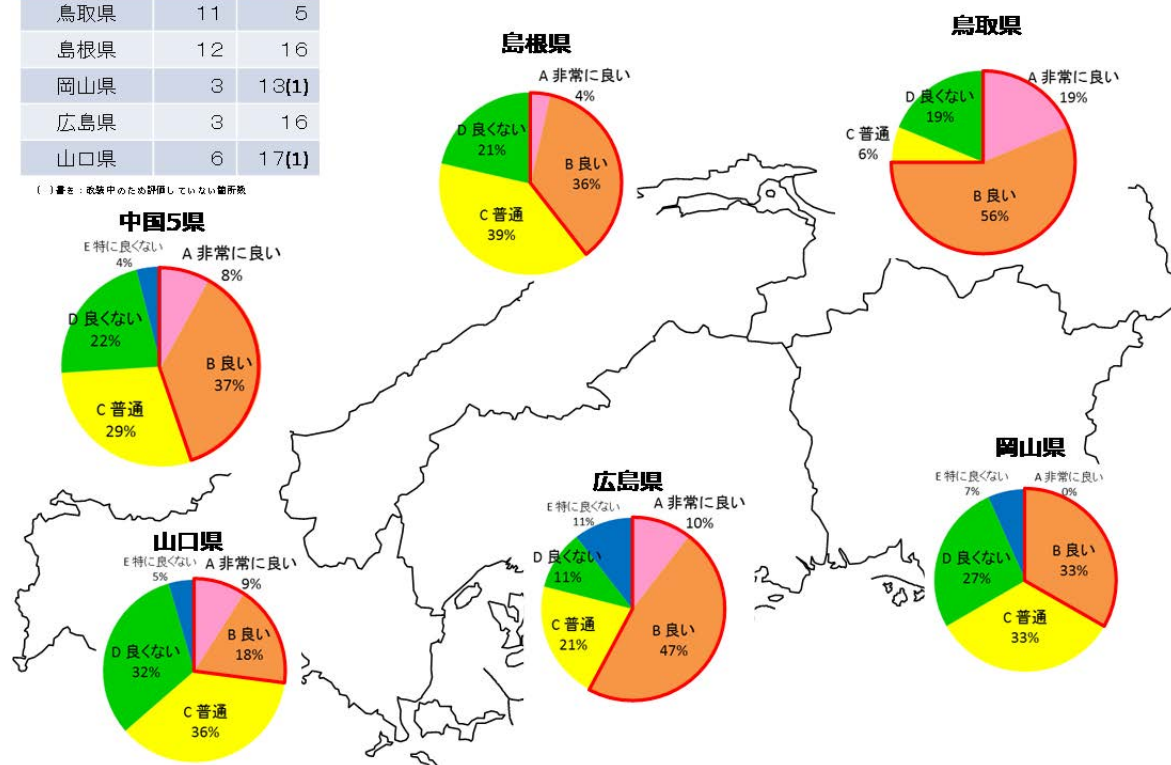


図-3 道の駅点検結果（情報コーナー）



写真-3 道の駅点検の様子



写真-4 好事例（案内）

5) ホームページ・カレンダー作成

くらしでの取り組みを紹介するため、中国地方整備局のホームページ中にくらしでのページを作成した。また、中国地方整備局の事業を紹介するとともに女性の活躍を載せたカレンダーを作成した。

くらしでの取り組み内容紹介することにより、中国地方整備局で女性職員が活躍していることを発信している。



写真-5 カレンダー

3. 最後に

今後もこのくらしでの取り組みを続け、女性職員がやりがいを持ち、結婚・出産後も仕事を続けていけるように後押しをしていきたい。